

前回 WG からの取り組み内容について

1 新たにとりまとめを行った学習資料

昨年度とりまとめた WEB サイト掲載内容について、教員等から収集した意見を踏まえて、掲載情報の拡充を行った。

学習資料名	該当する主な単元	教科書で扱っている内容	対応する釧路湿原における学習資料 (拡充を行った項目を記載)
【昨年度掲載】 流れる水のはたらき ～釧路川	●小学校 5 学年理科 ・流れる水のはたらき	侵食や堆積の様子、川の上流と下流の様子、石の形・大きさの違い等	上流から下流までの様子 ●釧路川水系の以下の写真・動画を追加 鑑別川、多和川、オソベツ川、久著呂川、雪裡川、幌呂川 ●釧路川の情報に写真・動画を追加
【新しく掲載】 塘路湖で行われている育てる漁業（仮）	●小学校 5 学年社会 ・水産業のさかんな地域をたずねて～育てる漁業にはげむ人々 ●小学校 4 学年社会 ※標茶町郷土読本のみ ●中学校社会 地理 ・北海道地方～自然環境を中心とした考察『「とる漁業」から「育てる漁業」へ』	●小学 5 年社会 鮭の栽培漁業、これからの水産業、森は海の恋人 ●中学社会 さけの人工孵化増殖事業、自然変化の課題等	●塘路湖で行われている漁業の概要 ●テーマごとのトピック ・孵化場で行われる作業 ・塘路湖での漁の方法 ・捕れた魚の出荷先 ・水を守るために環境を守る ・土地を買い取って水源を守る
【新しく掲載】 湿原と酪農～人の暮らしと自然との接点（仮）	●小学校 4 学年社会 ※各市町村郷土読本の酪農の仕事を知る単元 ●中学校社会 地理 ・北海道地方～自然環境を中心とした考察『日本の食料基地として』	●小学 4 年社会 酪農家の仕事の様子（苦勞、工夫） ●中学校社会 根釧台地の酪農、農地開発により失われた自然	●協力農家での 1 年の流れ ●テーマごとのトピック ・特に大変と思われること ・鹿による被害 ・タンチョウによる被害 ・湿原に隣接して酪農を営んでいることの苦勞 ・湿原や野生生物の保全に対する思い

2 教員研修講座の実施

理科や社会科の視点から教員研修講座を実施した。

○体感！釧路湿原～理科と社会の視点から～酪農とタンチョウ保護との共生に向けて～

実施日時 : 2013年11月23日(土)5時00分～15時20分

実施場所 : 鶴居村内

参加者数 : 5名

実施内容 : 酪農体験(協力農家における朝の一連の作業体験)

講話(タンチョウが起こす問題・湿原との関わり、それらへの思い)

タンチョウ観察

(鶴居村内の生息環境、共に暮らす人々の暮らし、取り巻く課題等を学ぶ)

タンチョウのえさづくりプロジェクト活動体験(コーンほぐし体験)

講師 : 中尾 幹夫氏(中尾牧場代表)

音成 邦仁氏(タンチョウコミュニティ代表)